

関東大震災下、朝鮮人・中国人、「社会主義者」 虐殺94ヵ年糾弾

内乱鎮圧・治安出動演習 九都県市合同防災訓練を粉砕しよう

全国反戦青年委員会／全日本学生自治会総連合(五代委員長)
東京都杉並区下高井戸1-34-9 03-3329-0165・0168 <http://zengakuren.info/>

8月30日から9月5日までの「防災週間」に合わせ、自治体主導の防災訓練が全国各地でおこなわれている。首都圏九都県市(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の四都県、五制令指定市)が相互に連携しておこなう九都県市合同防災訓練は、例年幹事都県市の会場を政府首脳や関係閣僚が視察する政府テコ入れの国家的行事としておこなわれている。

首都圏主要都県市の政府・自治体関係諸機関による大々的な事前宣伝の下、警察・消防などの治安機関が中心となり、帝国主義軍隊＝自衛隊・在日米軍が参加する「防災訓練」に労働者人民を動員していく。そして、非協力的な者を「非国民」としてあぶり出し、職場・地域社会から排撃していく。この一連の過程が戦時—有事における動員・徴用の予行演習であり、ファシズム的治安管理和戦争への総動員態勢の下地となるのだ。

戦争・ファシズムに向けた内乱鎮圧・治安出動演習＝九都県市総合防災訓練を粉砕しよう。すべての労働者人民は動員を拒否し、ともに実力粉砕の闘いにたちあがろう。

■警察・軍隊が主導する治安出動演習を粉砕しよう

本年度九都県市合同防災訓練は、幹事県・神奈川県が9月1日に開催する(神奈川県・小田原市合同総合防災訓練—ビッグレスキューかながわ)を中心に延べ20日以上にわたって開催される。

警察・消防などの治安機構が訓練全般を主導し、自衛隊や海上保安庁、在日米軍などの軍隊組織の参加規模は年々大きなものになっている。

とりわけ中央訓練と位置づけられるビッグレスキューかながわでは、自衛隊、在日米軍共同の医療救護活動訓練、陸・海・空自衛隊が連携したSCU(広域搬送拠点臨時医療施設)訓練など、自衛隊、在日米軍の参加は規模・資材・装備ともに、これまでにないものになっている。

阪神・淡路大震災や東日本大震災で真っ先に被災地に駆けつけた自衛隊がおこなったことは、銀行や信用金庫など金融機関の防衛や、警察署や消防署など治安機関の復旧作業だ。被災した労働者

人民の救命・救助ではない。警察・軍隊主導の訓練への労働者人民の動員は、有事における軍隊による治安維持活動への動員を想定している。「関東大震災級の大地震」を想定と言いながら、実際には労働者人民の内乱的な闘いに身構えた治安出動演習を粉砕しよう。

今春以降、安倍連合政府は、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)によるミサイル発射に備え、各地で「避難訓練」なるものを次々に強行している。8月29日の発射に際しては、Jアラート(全国瞬時警報システム)による避難警報を発令し、東日本の新幹線は全線が一時運行を停止した。

朝鮮・中国への反革命戦争突撃を見据えた臨戦体制構築への動きが強まるなか、それにさらなる拍車をかけるために、今回の九都県市合同防災訓練は強行されようとしていく。戦争・ファシズム態勢構築に向けた攻撃を断固粉砕しよう。

■関東大震災下朝鮮人・中国人・「社会主義者」虐殺94ヵ年糾弾

1923年9月、関東大震災発生直後に軍・警察が流した「朝鮮人暴動」のデマのもと、トビロ

からダイナマイトまであらゆる殺戮用の武器を用いた軍・警察・自警団一住民による朝鮮人虐殺が凶行された。

今年が100年目にあたるロシア革命の勝利の全世界への波及もあり、日帝の植民地支配下にある朝鮮では3・1独立蜂起をはじめとする朝鮮労働者人民の大衆的武装決起が闘われ、日帝足下でも米騒動や第一回メーデー、日本共産党や全国水平社の設立等、労働運動、大衆運動が高揚していた。そしてこれらの闘いの一面を朝鮮人の労働者・留学生が担っていた。3・1革命当時、朝鮮総督府で闘いの武力鎮圧を指揮した警視總監赤池、内務大臣水野は、おびたしい被災の不安の中で日朝労働者人民の怒りが政府に向けて爆発することに恐怖し、すぐさま戒厳令を敷いた。「朝鮮人が暴動を起こした」「井戸に毒を入れた」等の事実無根のデマを流し、軍や警察が朝鮮人虐殺の口火を切り、差別主義・排外主義に屈した多くの労働者人民が自警団を作りこの凶行に加担していった。こうして虐殺された朝鮮人・中国人は6千人を超えるといわれている。また軍や警察によって、大杉栄ら無政府主義者や社会主義者の虐殺(亀戸事件)も凶行された。

東京都知事小池は、この「6千人」という数字や「虐殺」の文言を理由に追悼文発信の再考をせまる自民党都議ファシスト古賀の質問に答えるかたちで、横網町公園で毎年開催される朝鮮人犠牲者追悼式への追悼文送付を断った。これまで慣例として応じてきた追悼を敢えて拒否し、虐殺の歴史の

隠蔽と差別・排外主義扇動に挑戦的に乗り出したのだ。絶対に許さない。「6千人」という数字が「不確か」なのは、虐殺直後から死体を埋め、更に夜陰に乗じて掘り返して持ち去るなど、徹底した隠蔽工作を凶り、94年間一度たりともまともな調査活動をしようとしなかった日帝歴代政府が責めを負うべきものだ。民間の地道で困難な活動の積み上げでかろうじて確認できた数字であり、実際はこれ以上かもしれない。

それにそもそも数字の問題ではないのだ。数字をあげつらい虐殺はなかったかのようにする手口は、南京虐殺でも同様だ。更に小池は「国籍を問わず災害で亡くなった方を追悼する」と、震災被災者のなかに民族差別による虐殺の被害者を埋もれさせようと凶っているのだ。

東京都はこれまでも都立高校の日本史副読本の記述から「虐殺」を削るなど歴史の隠蔽をもくろんできた。こうした教科書からの削除や碑の撤去など、朝鮮人虐殺をなかったことにしようとする攻撃を絶対に許さない。

日本の労働者人民が虐殺に手を染めたこと、殺された社会主義者のなかにも自警団に参加していた事実があり、虐殺を阻止する闘いができなかったこと—この痛苦な事実に向き合い、歴史的・階級的自己批判をかけ、差別虐殺94ヵ年糾弾を闘おう。北朝鮮へのミサイル発射を「重大な危機」としてあおり、差別排外主義扇動と戦争突撃に走る安部の下、強まる朝鮮人、外国人への排外主義扇動・襲撃を絶対に許さず、粉碎しよう。

■安倍連合政府の戦争・改憲—ファシズム攻撃を粉碎しよう

安倍連合政府は、戦争法(15年9月)につづき本年6月には共謀罪制定を強行し、〈戦争・改憲—ファシズム〉への突撃をさらに強めている。

今秋臨時国会では、「残業代ゼロ」攻撃をはじめとした“働き方改革”を法制化し、労働者人民を国家・資本の更なる隷属の下に追い込もうとしている。強まる差別主義・排外主義、共謀罪施行など激化する治安弾圧をはね返し安倍連合政府の〈戦争・改憲—ファシズム〉攻撃に対する反撃戦にいまこそ立ちあがろう。

反戦・反権力の砦＝三里塚闘争の決戦局面が煮詰まっている。半世紀以上に及ぶ徹底非妥協・実力闘争を破壊するための権力・空港会社の攻撃激化に対し反対同盟農民を先頭に反撃戦が叩きつけられている。闘争破壊のための右翼ファシストの「用地」内侵入を粉碎し、実力で市東さんの農地強奪を阻止しよう。反対同盟破壊の「第三滑走路」計画・空港機能強化攻撃を許さず、三里塚現地で開催される10・8全国集会に総決起しよう。決戦勝利から反革命人民抑圧空港＝三里塚(成田)空港

廃港に向け闘おう。

沖縄労働者人民は辺野古新基地建設を断じて許さず、「本土」(ヤマト)派遣の機動隊、海上保安庁の殺人的テロと対決し実力阻止闘争をうちぬいている。今春より開始されている本格工事を許さず、辺野古現地に結集し実力攻防を闘おう。

米軍・自衛隊、沖縄のすべての基地・軍隊の解体をめざし闘おう。オスプレイの配備—「飛行訓練」を粉碎しよう。日米反革命階級同盟＝日米安保を粉碎しよう。

反戦・全学連は三里塚・沖縄・反原発の闘いと結びつき今秋期階級攻防を全力で闘い抜く。戦闘的労働人民・被差別大衆と連帯し安倍連合政府の戦争・ファシズム—改憲攻撃を粉碎しよう。

天皇アキヒトの「生前退位」による天皇代替わり＝Xデー攻撃が政治日程に上るなか、蠢動を強める右翼ファシスト、天皇の赤子＝反革命革マル、差別主義反革命・木元グループをなぎ倒しともに闘おう。

(2017年9月1日)

